



ハッチ ニュースレター

2023年
初夏号 Vol.6

発行：HATCH EDUCATION 株式会社 06-6606-8201

1300年続く「西国三十三所巡礼」 始めてみませんか



(写真左から)
・第1番札所青岸波寺から眺める那智の滝
・第16番札所清水寺は車いすでも参拝可能

(写真左から)
・第26番札所一乗寺の本堂から見る景色
・竹生島の第30番札所の宝蔵寺
・第28番札所成相寺から望む天橋立



代表の初瀬川初雄です。今回のお薦めスポットは、『西国三十三所巡礼』をご紹介します。

西国三十三所巡礼は1300年程前に始まり、日本で最古の巡礼です。

巡礼地は、南は和歌山県那智勝浦町の青岸波寺を第1番札所とし、北は京都府宮津市の成相寺、西は姫路市の圓教寺、東は岐阜県の華嚴寺を第33番札所とし、他に大阪府、奈良県、滋賀県を加えて2府5県にまたがり、総距離約1000kmに及びます。

御朱印は、徳道上人が閻魔大王から授かった三十三の宝印が起源と言われ、閻魔大王の約束の証である宝印を三十三所のすべての寺院で集めると、極楽浄土への通行手形となるそうです。

現在、御朱印を頂くと草創1300年記念散華が一緒に授与されます。これを専用の台紙に貼ると観音経の一部が完成します。

巡礼を始める前、三十三所も本当に巡れるだろうかとか不安になると思いますが、寺院を巡るごとに御朱印と散華の増える様子が見えるので、次の寺院も巡りたいという気持ちになります。

巡礼の楽しさは御朱印だけでなくあります。各寺院の歴史や境内からの眺めを楽しんだり、各土地の美味しい物を食べたりと各自で色々な楽しみを見つけているのも巡礼の醍醐味だと思います。

また、人との出会いも楽しさの一つです。番外の元慶寺では無施肥無農薬栽培を58年されている農家の方と出会い、一乗寺では各地の札所巡りをされている方と出会い、貴重なお話を伺いました。まさに一期一会です。

車いすの方や高齢の方は寺院を参拝できるのか不安だと思えます。清水寺をはじめバリアフリー化されている寺院や、本堂の近くまで車で行ける寺院もあります。階段が多く山門前まで車いすで行けない寺院もあります。本堂で参拝できない場合、参拝できる場所を参拝し、同行の方が代わりに御朱印を頂いても良いそうです。各寺院の情報は弊社のホームページをご覧ください。

大阪の近くにある西国三十三所巡礼、これを機に始めてみてはいかがでしょうか。もちろん介護タクシーで巡礼することも可能です。お気軽にご相談ください。

外国人材瓦版

介護留学生たちの卒業式と来日



留学生たちと卒業式後の記念撮影

3月末、1年前に来日した留学生たちの卒業式に参りました。

学校から卒業式の案内をいただいた、留学生たちの保護者の代わりに参列と思っていました。学校に着くと来賓として案内されとても驚きました。

コロナで1年以上入国が遅れた留学生も含め、みんな介護施設で働きながら一生懸命に日本語を勉強して、1年で日本語を卒業できたのは素晴らしい一言に尽きます。そんな思いで彼らを見てみると涙がにじんできました。

4月からは介護福祉士科の勉強が始まり、彼らは2年後の国家試験に向けて勉強を頑張っています。

みんなの元気な顔を見て、本当に嬉しかったです。来日した留学生たちは、日本の介護のために専門学校で日本語と介護福祉士の勉強を頑張っています。

伊丹空港、関西空港のどちらに着くかわからず、羽田空港のフライトスケジュールから推測して関西空港で待っていると、留学生たちから関西空港に着きましたとメッセージがあり、ホッとしました。

4月初め、インドネシアから介護留学生3名が来日しました。

関西空港到着予定1時間前に、羽田空港で入国者が多くなかなか入国ができず飛行機に乗り遅れ、とりあえず大阪行きの飛行機に乗ったとインドネシアの先生から連絡がありました。



日本で希望に満ち溢れ笑顔の留学生たち



プロカメラマンによる撮影

介護留学生たちが「着物ショー」に出演

少し前のお話になりましたが、昨年の12月24日に着物が障がい、国籍、宗教などの多様性を包み込んで一つにする着物ショー『パラボレクション大阪』に介護留学生たちが参加しました。

普段は介護施設で勤務している留学生たちですが、今回はご縁があってプロの着物の着付師の方から、日本の介護のために頑張っている留学生たちに頑張っている留学生たちに本物の着物を着てもらいたいとお声をかけていただきました。

着付師の方々に着物を美しく着せてもらい、ヘアメイクもしてもらい、さらにプロのカメラマンにも撮影してもらいました。

初めての本格的な着物に留学生たちはみんな喜んで、写真を取り合ったり、友達や母国の家族に写真を送ったりしていました。



初めての着物ショーに参加して緊張する留学生たち

これから外国人の採用、介護留学生の募集、インターシップの募集をご検討されている介護施設様、企業様、学校様はお気軽にご相談ください。

(弊社代表 初瀬川初雄)

HATCH EDUCATION 株式会社

〒545-0021 大阪市阿倍野区阪南町1-20-25-301

☎06-6606-8201 <https://hatch-ed.jp/>

受付時間 9:00~18:00(不定休)

事業内容
I 教育事業
II 外国人留学生紹介事業
III 介護タクシー事業

【つづく+】いつまでも自分の足で！

ケアビューティリストの笹川範子です。歩く、立つ、踏ん張る、足って体の土台なんですよ。

足裏の表面積は体の表面積の約2%。こんな小さな場所で大変な体を毎日支えてくれています。

足裏にはたくさん足のツボがあり、足もみをすることでケガや病気が改善傾向に向かうとも言われています。

また、ふくらはぎは『第二の心臓』と言われており、血管の循環に対して重要な役割を担っています。ふくらはぎには沢山の血管が通っており、歩いたり走ったり、足首を動かしたりして、ふくらはぎの筋肉が収縮すると同時に血管も絞られ、それがポンプ機能となり、足下に流れてきた血液が再び心臓へ戻されるのです。

歩かないでいると、血液や老廃物が溜まってパンパンになってしまいます。歩いたり、もんだりすれば、心臓の助け



活していく中においては死活問題です。これが最近世間でもよく取り上げられている「100万円の壁」問題につながっていきます。

88,000円×12か月×105.6万円、労働時間を20時間未満に抑えたり、年収を106万未満に抑えたりする方が、社会保険加入するより、手取りが高いという逆転現象が起きる場合があるのです。結果、労働力が失われ、企業は人材難問題につながっていきます。

社会保険に加入して少しでも将来の年金をアップさせるか、収入を抑えて手取りを増やすか。なかなか難しい問題ですが、頑張っている方が、働き損にならないような制度にしてほしいものです。次回も知っ得情報をお届けします！

どこまでも！が叶います。

足に悩みがある方、靴の正しい履き方（靴の選び方にもポイントがあります！）を知りたい方、気になった方は、つづく+がお伺いさせていただきます。

もちろん、車いすをご利用の方のフットケアも対応させていただきます！

ハッチケアアタクシードでお出掛けしたあと、フットケアをするのもいいですね！

つづく+は、人生100年時代、誰もが気兼ねなく行きたい場所や会いたい人のところへ行けるよう、日本中がもって笑顔で溢れるよう願っています！

@1951micg
LINE/WhatsApp/Instagram/YouTube/Zoom/Google Meet/Zoom Meeting ID: 909 800 0000

つづく+
代表 笹川範子
050-3637-0229
tsuduku.plus@gmail.com

社労士界の雑学王 柿本直也の

社労士の知っ得情報!!

今年早く桜が咲きましたが、GWが過ぎても気温は安定せず、例年通り鼻はムズムズ、目はショボショボ：そう花粉症にやられていました（泣）ひたすら耐えるのみでした。気を取り直して、今年も知っ得情報をお届けします。

昨年の10月頃「社会保険適用拡大」という言葉が少し話題になったことを覚えておられるでしょうか？

これは、社会保険加入している被保険者数が101人以上いる事業所については、週20時間以上の労働時間で、なおかつ月額88,000円以上のパート労働者は、社会保険に加入しなければならぬと法律改正されたものです。

令和6年10月には51人以上の被保険者がいる事業所に拡大されることが決まっています。

配偶者の扶養家族に入っている、社会保険料はかからなかったのに、これで社会保険料が給与から天引きされることになり、給与の手取りが減るわけです。厚生年金加入できるから将来の年金が少し増えるメリットもありますが、やはり手取りが減るのは、生

活していく中においては死活問題です。これが最近世間でもよく取り上げられている「100万円の壁」問題につながっていきます。

88,000円×12か月×105.6万円、労働時間を20時間未満に抑えたり、年収を106万未満に抑えたりする方が、社会保険加入するより、手取りが高いという逆転現象が起きる場合があるのです。結果、労働力が失われ、企業は人材難問題につながっていきます。

社会保険に加入して少しでも将来の年金をアップさせるか、収入を抑えて手取りを増やすか。なかなか難しい問題ですが、頑張っている方が、働き損にならないような制度にしてほしいものです。次回も知っ得情報をお届けします！

近畿労務管理オフィス
代表 柿本直也
06-4302-3536

看護師 渡辺ひとみの 人工膝関節造設後のマッサージについて

こんにちは
寄心合同会社代表、看護師の渡辺ひとみです。

先日、人工膝関節造設の手術をされた方に足のマッサージさせていただきました。

近年、多くの方が人工膝関節造設の手術を受けられています。その後のセルフケアの情報が少なく、むくみや、足の脱力感などでお悩みの方が多くいらっしゃいます。セルフケアをお伝えできればと思っております。

人工関節の手術を受ける際、筋肉量が激減し、それによって血流が滞り、むくみを招きます。

簡単なマッサージや、筋肉トレーニングによって、むくみの改善（手術をしたら、継続しないといけないです）が期待できます。

循環を良くするスチーマー（エナジージェット）と、むくみケアのクリーム（自然療



寄心合同会社
代表社員 渡辺ひとみ
06-6624-3222

法トントンコスメ）を使ったマッサージを5分程度行うだけで、むくみの改善が期待できます。

ご興味をもたれましたら、マッサージさせていただきますので、是非一度体験してみてください。

ケンタローの 地域一番的コロナ経路考（前編）

こんにちは！地域一番を目指す人を応援するケンタローです。

不覚にも先日コロナに罹患してしまいました。マスクつけているから大丈夫だと思っていた。職場では換気しているし、近くにコロナ感染者もおりませんでした。人混みといえば通勤時の満員電車くらいです。そこで今回はコロナの感染経路について考えてみることにしました。

僕の思う感染経路は4つ。

①空気感染
②飛沫感染
③接触感染
④血液感染

それぞれの詳細は省略しますが、ここでは③接触感染について考えたいと思います。

まずは問題です。人は1時間に何回顔に触るでしょう？

答えは20回以上。どうしてこの問いを最初に掲げたかというのは、これが大きな感染原因になりうるからです。

何か感染源に触れた後、その指で目や鼻・口など触ってしまうこと。そこからウイルスが体内に侵入し増殖してしまふことが大きな原因の一つだと思っております。

頭をかいてから目をこする。服を触った後に口を触る。こんなことは日常茶飯事です。その日常の中に感染リスクがあるのです。

皆さん、手指消毒はこまめにしましょうね。

